

# 平成28年9月 資金需給見込み

平成28年9月5日  
上田八木短資株式会社

(単位:億円)

	見込み	(前年実績)	(前年比)
<b>銀行券要因</b>	<b>200</b>	<b>△ 1,744</b>	<b>1,944</b>
<b>財政等要因</b>	<b>△ 40,500</b>	<b>△ 38,464</b>	<b>△ 2,036</b>
国債等	19,900	28,513	△ 8,613
国庫短期証券等	△ 44,600	△ 37,196	△ 7,404
租税	△ 42,100	△ 38,000	△ 4,100
社会保障	19,100	11,700	7,400
交付金	40,600	39,300	1,300
公共事業	2,100	2,200	△ 100
一般その他	4,200	3,700	500
財政融資	△ 36,400	△ 34,900	△ 1,500
外国為替資金	-	300	△ 300
保険	△ 23,500	△ 22,500	△ 1,000
特会その他	23,500	27,700	△ 4,200
<b>資金過不足</b>	<b>△ 40,300</b>	<b>△ 40,208</b>	<b>△ 92</b>

(日本銀行・財務省公表資料より。財政等要因の内訳は主要項目のみ。)

## 1. 銀行券

銀行券要因は200億円の発行超と予想される。

(9月末銀行券発行残高前年比見込み+5.2%)

## 2. 財政等要因

財政等要因は、余剰要因として普通交付税や地方特例交付金の交付等があるものの、不足要因として消費税・法人税等の租税や源泉所得税の揚げがあり、また、国庫短期証券が発行超となることから、4兆500億円の不足となる見込み。

なお、国庫短期証券売買オペにより日銀が取得した国庫短期証券のうち、9月中に償還期日が到来する金額は約4兆3200億円である。

## 3. 資金過不足

この結果資金過不足は、4兆300億円の不足となる見通し。

## 4. 日銀調節残高

(平成28年8月31日現在 単位:億円)

	8月末残	うち9月中期日到来残高	期落ち比率
共通担保(本店)	0	0	-
共通担保(全店)	4,162	3,782	91%
C P 現先	0	0	-
成長基盤支援強化	68,139	1,202	2%
被災地金融機関支援	5,045	975	19%
貸出増加支援	328,557	8,418	3%
国債買現	0	0	-
<b>資金供給調節合計</b>	<b>405,903</b>	<b>14,377</b>	<b>4%</b>
売手入札	0	0	-
国債売現	0	0	-
<b>資金吸収調節合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第243号 加入協会 日本証券業協会